

## 冬の「親育」

- ・1月18日(金) 子ミュカ®ゼミナール第46回  
「医療とコミュニティ  
～『もしバナゲーム』から考える～」  
10:00～11:40 ウィンクあいち1005会議室 担当：野村 浩史
- ・2月 4日(月) 子ミュカ®ゼミナール第47回@三重県鈴鹿市  
「子ミュカ®マインドup講座」  
10:00～11:40 白子駅前センターイベントショッブ 担当：黒田 忠晃
- ・3月15日(金) 子ミュカ®ゼミナール第48回  
「教えない教育」  
10:00～11:30 ウィンクあいち1005会議室 担当：山上 敏樹
- ・4月 6日(土) 子ミュカ®ゼミナール第49回  
「4周年記念イベント」  
※映画上映会を予定、会場・時間等は未定

## 親育メンバー募集中

「親育メンバー」を随時募集しております。3種類の会員制度がございます。お申込は、HPからどうぞ。(講座受講で入会金免除、入会月で会費が異なります)

- ▼正会員 一緒に活動して、盛り上げていきたい。  
入会金：10,000円 年会費：12,000円(月1,000円)
- ▼利用会員 イベントや講座に参加したい。  
入会金：1,000円 年会費：6,000円(月500円)
- ▼賛助会員 私たちを応援したい。  
入会金：10,000円 年会費：12,000円(月1,000円)

### 私達が正会員メンバーです(メンバーの紹介はHPにて)

代表理事) 黒田 忠晃 副代表理事) 山上 敏樹 理事) 横山 美八子 監事) 岩附 あずさ  
正会員) 縣 敦子 岩淵 優子 太田 秀樹 久野 由詠 新村 恵 野村 浩史 平野 弘子  
眞柄 文子 松本 のりこ 村野 政章 (50音順、平成31年1月1日現在)



〒470-0122  
愛知県日進市蟹甲町中島277-1(にぎわい交流館内)  
電話：0561-76-3475(La C Lo内)  
E-Mail：oyaiku.network@gmail.com  
HP：「親育ネットワーク」で検索  
http://www.oyaiku-net.org/



NPO法人親育ネットワーク

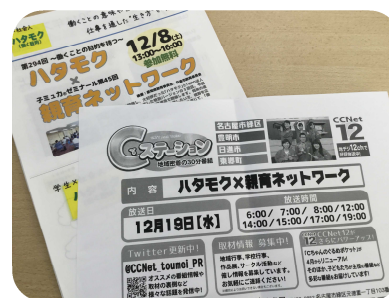
# おやいく通信

2019年冬  
第3号



## 「ハタモク×親育ネットワーク」開催

NPO法人親育ネットワークの月1講座「子ミュカ®ゼミナール」。第45回は、「働く目的とは何か？」を考える「ハタモク」とのコラボ企画を、愛知県日進市で開催しました。(後援：愛知県教育委員会、日進市教育委員会)



「ハタモク×親育ネットワーク」は、将来の進路を考えている方、自分自身の軸を見つめ直したい方、視野を広げたい方などを対象に、他業種・他世代の方との交流を通じて、「働くことの目的は何だろうか？」を一緒に考えていく場。今回も、中3以上の学生と社会人あわせて約20名にご参加いただき、3つのテーマで考える時間となりました。今回は、地元ケーブルテレビCCNetさんにも撮影をしていただきながらの3時間でした。

## 自分の道は自分で決める

今回も「働く目的」について、今までの人生から、好きなことから、やってみたい職業から考えていきました。最初は、緊張感もありましたが、セッションが進むにつれて、いろいろお話しできている様子がうかがえました。回を重ねていますが、その時のタイミングによって、出てくるものがありますし、グループメンバーによって、たくさんの気づきを引き出されますね。

「学生のパワーに圧倒された」、「自分の働き方を見直す機会になった」などなど、お互いに刺激を受ける時間になりました。

大切なことは、「軸を持って、自分の人生は自分で決める」。自分軸を整えるためにも、やっぱり、こういった機会は今後も必要ですね。



## 嬉しい感想をたくさんいただきました！

- ・いろいろな大人子どもがいるなと思いました。歩んできた歴史、その人の背景、家族が垣間見れました。
- ・何回参加しても新たな気づきがあり、今日は学生の意識が高くて、大人である自分ヤバい！って思いました。
- ・それぞれの働く目的を理解した上で、将来のことも考えたいです。

# 😊 子ゼミレポート

## ○9月 人間カトレーニング「ドキドキ体験」ココロ揺さぶりワーク



アートラボマーガレット代表の新村恵さんにご登壇いただきました。

最初は、ブラインドウォークの体験。ガイドがある・ないの違いからくる不安感などの感じ方を共有していきましました。その後は、今、心の中にある課題を妖怪としてアートで表現そして、それを対処するためのヒーローをアートで表現して感じたことをシェア。最後に、これだけは「いや」「しない」を書き、それは、どこから来るのかを感じる時間でした。

自分の心と繋がる機会。頭の中でぐるぐるしていることをアウトプットして客観視してみると、見えること、感じるがありますね。

## ○10月 医療とコミュニティ～「もしバナゲーム」から考える～

NPO法人日本ICDの会（全国ICD・CRT-D患者家族の会）理事の野村浩史さんをご担当でした。

がんになり、余命6ヶ月の想定で、何を大切に生きていきたいかをカードゲームを使って考えていきました。様々な価値観。どれも考えさせられます。最終的に残りの人生で大切にしたい価値観を3つに絞り込む形で、その理由を語り合いました。それぞれの人生観が出るお話しで共感の輪が広がる時間でした。どんな人生を歩みたいかを考えるには、とても興味深い内容です。1月の子ゼミでも体験ができますよ。



## ○11月 「頭スッキリ 心ニッコリ ひろコーチング」



おやいく通信の「ひーこの独り言」でおなじみの平野弘子さんをご担当でした。（次ページに今回もありますよ）

前半は、頭をスッキリさせるためのエクササイズ。檜のボールを頂いて、顔もコロコロ、足もコロコロお手々ブラブラ～♪

リラックスした状態で後半は、ひろコーチング！

「親育」をテーマに、「今」、「未来」、「できること」を参加した皆さんで語り合いました。ひーこちゃんが話したことをイラストに。イメージがスッと入ってきます。そして、最後に「夢」について語り合いました。お互いが応援し合える心ニッコリする時間でした。

### 子ゼミに参加して下さった方のご感想

- ・クリアにする。手放す、思考の整理ができて良かった(9月子ゼミ)
- ・愛の選択でいけばいいんだと思えた(9月子ゼミ)
- ・自分のこれからの生き方について、改めて考えるいい機会になった。(10月子ゼミ)
- ・コーチングの肝を知れてよかったです。(11月子ゼミ)

# 🌱 正会員メンバー紹介 vol.3 ~詳しくはHPをご覧ください~



**山上 敏樹** (副代表理事 NPO法人子どもアイデア案校理事長)

Never tell people how to do things. Tell them what to do and they will surprise you with their ingenuity.

「人にやり方を教えるな。何をすべきかを教えれば、人はその創意工夫で驚かせてくれる。」第2次世界大戦で活躍したパットン将軍の言葉。真の学力を身につけるために、2つのソウゾウリョク(想像力・創造力)を引き出す独自の能動体験型学習法®を開発し、廃校等を活用した「子どもアイデア楽工」で実践中。



**岩附 あずさ** (監事)

愛知県名古屋市在住。学生時代から約15年、NPO活動に携わる。親育ネットワークのビジョンに共感し、この地域に親育の考えを伝えるべく、立ち上げ時から監事として関わっています。これからの時代は敷かれたレールがあるわけではなく、一人ひとりがどのように生きていくかを選んでいく時代です。親育の活動を通じて、生きる力を身につける機会を提供し、活力のある社会を作っていきたいです。



**岩淵 優子** (合同会社ふぁみりいぐっど®代表)

東京都在住。フリーランス保育士。子どもに寄り添い、保護者もサポートしながら、親も子も、地域で共に育める社会創りを目指し、発達障害児支援を中心に、保育コーディネーターとして、生きづらさを感じる子ども達にも寄り添っています。合同会社ふぁみりいぐっど®を立ち上げ、保育以外にも、小中学校の児童生徒さん、その保護者の方々向けの講座や授業を開催。日々を楽しむ大切さを伝えて活きます。



**村野 政章** (NPO法人Eath as Mother副理事長)

愛知県豊田市を拠点に、農薬や化学肥料・除草剤を一切使わない「有機循環自然農法」を実践し、環境と心身の健康を回復させる「食育・共育ファーム」を運営。持続可能な真農業福祉コミュニティ構築の実現に向けて活動中。

ひきこもり、ニートなどの困難を抱える若者の自立支援やの就労準備訓練事業を通じ、官と民、地域を繋ぎながら、共生社会づくりに奮闘中！



## ひーこの独り言 その3

平野 弘子 ~専業主婦の傍ら、イベント主催やコーチングをやっています~

映画「こどもこそミライ」の上映…親育のキックオフイベントでは、代表理事のくろちゃん先生のおかげで知り合えた素敵なお母様方と再会。「親が学ぶ、そして、育つことの出来る場」ができる！ 喜び・ワクワク+子どもを連れて参加しても、皆さん温かく子どもと私にも接して下さる喜びに包まれた、あたたかな学びの場でした。

上映頂いた「こどもこそミライ」では、自分が知らなかった様々な世界がありました。自分の身の回りではなかったけれど、希望をもてる世界が知らないところにはあるんだと知ることができました。

イベント後は、勇気を出して、初めて子どもを連れて、懇親会にも参加しました。そのおかげで初めての経験も。 【次号へ続く】